火山国日本　知って備えて楽しむ火山　②

火山についての情報

気象庁 HP(右図)に、「火山登山者向けの情報提供サイト」があります。
詳細情報が見られますので、事前に調べておくとよいでしょう。
「Yahoo! 防災速報」の「火山情報」に登録すると、噴火情報等が収集できます。

↑気象庁HP「火山登山者向けの情報提供」

↑△をクリックすると、詳細情報がみられる。

噴火したときに危険なもの

①火砕流

遭遇すると高速高温で迫ってくるため、逃げるのは困難

②噴石

御嶽山の噴火でも大量に降ってきました。
岩陰に隠れ、ヘルメットや大きなザックで身を守る必要があります。

日本火山学会では、「安全に火山を楽しむために」というハンドブックを公開しています。参考にしてみてください。

③火山ガス

二酸化硫黄、硫化水素、二酸化炭素からできています。硫化水素は温泉地の卵の腐ったような臭いがしますが、高濃度になると臭わなくなるので注意が必要です。
また、「火山ガス」は、空気よりも重いため、風の弱いときには、くぼみなどに入らないことが必要です。

④火山灰

よく見ると細かい砂粒で角張ったものが多いです。　目に入ると痛くなり、大量に吸い込むと肺にダメージがでてきます。

火山噴火予知とは

５つの要素について事前に予測します。

1．いつ（噴火時期）

2011 年霧島新燃岳、2014 年御嶽山のような「水蒸気噴火」は非常に難しいです。
前兆は直前（ほんの数分前）に現れる場合もあるからです。ただ、2000 年の有珠山、2000 年の三宅島の「マグマ噴火」は、激しい群発地震と地殻変動を事前に引き起こしたので、予知され避難につながりました。

2．どこで（噴火場所）

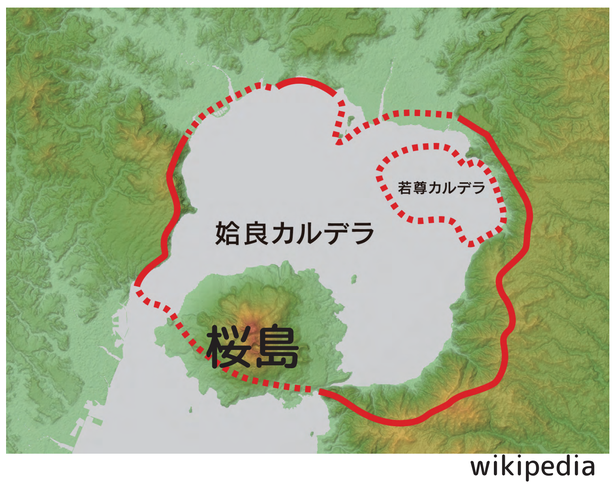
いつも火山は山頂から噴火するわけではありません。864年の貞観噴火や 1707 年の富士山の宝永噴火は、山腹から噴火しました。

3．どのような（噴火様式）

火山によって噴火形式が異なるので、訪れる火山がどのような噴火をしやすいか、事前に知っておくと良いでしょう。

4．どのくらいの（噴火規模）

超巨大噴火もありえます。例えば、桜島の周りの姶良（あいら）カルデラは、
2万9千年前に噴火した火口のあとです。



wikipedia

5．いつまで（噴火推移）

有珠山は 1977 ～ 1978 年（1年間）。雲仙は 1990 ～ 1996 年（6年間）。
三宅島は 2000 ～ 2010 年（10年間）と、長さの予測は困難です。噴火開始後に、どのように噴火活動が推移するかを予測することも難しいです。また、長期に渡って継続することもあります。

美しい景色や恵みをもたらす「火山国日本」

火山は、観光地となっていることが多いです。また、自然が豊かで風光明媚、登山を楽しむ、リゾートや温泉地などのメリットが多くあります。また、日本の国立公園の半分（17/34）に火山があり、マグマや噴火の形態について知っていると、地形や地層、生物群などのワイルドな自然があって面白いことがたくさんあります。

山に出かけるときは、その山が火山かどうかをまず調べ、火山なら現在の活動と過去の歴史を気象庁ホームページなどで事前に調べて、火山警戒レベルやハザードマップを知っておくことで、より安全により深く火山を楽しめます。

「生きている火山」展監修

名古屋大学環境学研究科
地震火山研究センター　教授 山岡耕春さん

プロフィール
1986年名古屋大学大学院　理学研究科　地球科学専攻　博士課程修了。理学博士。日本地震学会会長、文部科学省科学技術学術審議会測地学分科会委員、愛知県防災会議委員等、多数歴任。NHK「クローズアップ現代」など、テレビ出演等多数。著書に「地震・津波と火山の事典」（丸善）、「Q&A日本は沈む？」（理工図書）、「地震予知の科学」（東京大学出版会）、「南海トラフ地震」（岩波新書）等。

名古屋大学にて